

**製品名: LPAAT- $\delta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13382**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	44kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AGPAT4
別名	AGPAT4; 1-acyl-sn-glycerol-3-phosphate acyltransferase delta; 1-acylglycerol-3-phosphate O-acyltransferase 4; 1-AGP acyltransferase 4; 1-AGPAT 4; Lysophosphatidic acid acyltransferase delta; LPAAT-delta
遺伝子 ID	56895.0
SwissProt ID	Q9NRZ5
免疫原	抗血清はヒト AGPAT4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

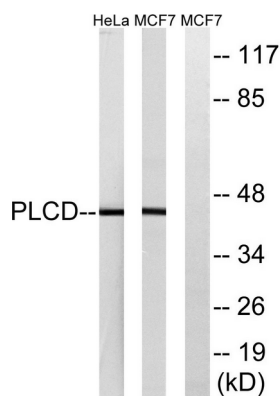
**背景**

この遺伝子は、1-アシルグリセロール-3-リン酸 O-アシルトランスフェラーゼファミリーのメンバーをコードしています。この膜貫通タンパク質は、リゾホスファチジン酸をホスファチジン酸に変換します。これは、リン脂質の de novo 生合成における第 2 段階です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: アシル CoA + 1-アシル-sn-グリセロール 3-リン酸 = CoA + 1,2-ジアシル-sn-グリセロール 3-リン酸。 ,ドメイン: HXXXXD モチーフはアシルトランスフェラーゼ活性に必須であり、グリセロール-3-リン酸のリン酸基の結合部位を構成していると考えられます。 ,機能: グリセロール骨格の sn-2 位にアシル基を組み込むことで、リゾホスファチジン酸 (LPA) をホスファチジン酸に変換します。 ,経路: リン脂質代謝; CDP-ジアシルグリセロール生合成; sn-グリセロール 3-リン酸からの CDP-ジアシルグリセロール: ステップ 2/3。 ,類似性: 1-アシル-sn-グリセロール-3-リン酸アシルトランスフェラーゼファミリーに属します。 ,

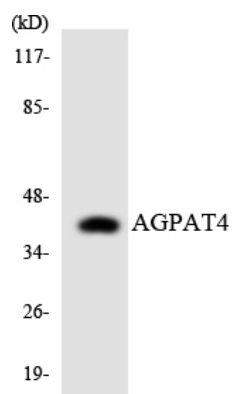
## 研究分野

グリセロ脂質代謝;グリセロリン脂質代謝;エーテル脂質代謝;

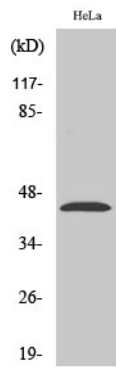
## 画像データ



AGPAT4 抗体を用いた HeLa 細胞および MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AGPAT4 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



LPAAT- $\delta$  ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。